



2017年5月18日
カブドットコム証券株式会社
(コード番号:8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

剰余金の配当の決議に関するお知らせ

2017年5月18日開催の取締役会において、下記のとおり、2017年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2017年2月8日公表)	前 期 実 績 (2016年3月期)
基 準 日	2017年3月31日	同 左	2016年3月31日
1 株 あ た り 配 当 金	6.0 円	6.0 円	6.0 円
配 当 金 総 額	2,004 百万円	—	2,029 百万円
効 力 発 生 日	2017年6月9日	—	2016年6月13日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、業容に応じた強固な財務基盤と将来の事業拡大に必要な内部留保を確保した上で、配当と自社株買いを合わせた「総還元性向」を重視、2016年3月期から2018年3月期につきましては、当該3か年度の平均総還元性向の目標を100%としております。中間配当と期末配当を合わせた年間配当は「配当性向50%かつDOE(純資産配当率)4%」を下限とし、自社株買いについては、決算の進捗に加え当社株式の市場価格、流動性、個人株主数などの状況を総合的に勘案し機動的に実施していく方針としております。この方針に基づき、当期の配当金額は、1株当たり6.0円の間中間配当および期末配当6.0円を合わせ、年間配当12.0円(配当性向67.5%、DOE9.3%)といたします。また、当期は19億円の自社株買いを実施(2017年2月9日～2017年4月5日に取得した自己株式総額)しており、当期の総還元性向は99.3%となりました。

なお、当社は定款の定めにより、剰余金の配当については取締役会の決議によることとしており、期末配当金の支払いは2017年6月24日に開催予定の定時株主総会に先立ち2017年6月9日から開始する予定です。

<ご参考>

年間配当の内訳

基 準 日	1 株 当 た り 配 当 金		
	中間期末	期末(※1)	年間(※1)
2017年3月期実績	6.0 円	6.0 円	12.0 円
2016年3月期実績	6.0 円	6.0 円	12.0 円
2015年3月期実績	0.0 円	11.5 円	11.5 円 (内記念配4.0 円)
2014年3月期実績	0.0 円	9.0 円	9.0 円 (内記念配2.5 円)
2013年3月期実績	0.0 円	4.0 円	4.0 円

(※1) 2015年3月期以前の1株あたり配当金は、2015年7月に実施した株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正しております。

当社の株主還元実績

決算期	1株当たり 年間配当金(※1)	純利益 (ROE)	配当総額 (配当性向)	DOE	自己株式 取得額(※2)	総還元額 (総還元性向)
2017年 3月期	年間 12.0 円	60 億円 (13.9%)	40 億円 (68%)	9.3%	19 億円	59 億円 (99%)
2016年 3月期	年間 12.0 円	80 億円 (17.7%)	40 億円 (51%)	9.1%	38 億円	79 億円 (100%)
2015年 3月期	11.5 円 (内記念配 4.0 円)	76 億円 (17.2%)	40 億円 (52%)	9.1%	8 億円	48 億円 (64%)
2014年 3月期	9.0 円 (内記念配 2.5 円)	66 億円 (17.0%)	31 億円 (48%)	8.1%	-	31 億円 (48%)
2013年 3月期	4.0 円	22 億円 (6.7%)	14 億円 (62%)	4.1%	-	14 億円 (62%)

(※1) 2015年3月期以前の1株あたり配当は、2015年7月に実施した株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正しております。

(※2) 自己株式取得額は、当該決算期中に取得開始したものを記載しております。

なお、当社の主たる業務である金融商品取引業は、株式等の市況の影響を大きく受けるため、その予想が非常に困難であることから業績予想は開示しておらず、また同理由から配当予想についても開示しておりません。今後、配当予想額について決議した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先> 経営管理部 広報担当 大西 勝二 TEL:03-3551-5111

・金融商品取引業者登録: 関東財務局長(金商)第61号 ・銀行代理業許可: 関東財務局長(銀代)第8号

わたしたちは  MUFG です。

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

東証1部【8703】